

人・郷土・産業

# これからの富山県

[1996▶2000]

新富山県民総合計画 後期事業計画（概要版）



富山県

# 夢にまっすぐ、 21世紀へのかけ橋

私たちは今、20世紀のフィナーレを彩り、新しい時代の扉を開く、まさに歴史的な瞬間を迎えようとしています。

この大きな節目の時期において、富山県は「前期事業計画」の着実な成果を受け継ぎ、「後期事業計画」という次のステップへと踏み出しました。

後期事業計画は、新富山県民総合計画の総仕上げであると同時に、まさに来たるべき新世紀へのかけ橋ともいうべき役割を担っています。

富山県では、この後期事業計画にもとづき、21世紀を展望した夢と希望にあふれる県づくりに全力を挙げて取り組んでまいります。県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



富山県知事 中沖 豊



## 《新富山県民総合計画・後期事業計画とは》

21世紀を迎えるにふさわしい新しい富山県づくりを進めるにあたって、県民共通の夢や目標、そして実現への道すじを明らかにしたのが新富山県民総合計画です。

この計画は、10年間を計画期間とする基本計画と、それを前後期の5カ年に分けた事業計画から成り立っています。平成8年度からスタートした後期事業計画では、前期事業計画の成果とその後の社会情勢の変化をふまえ、総合計画が掲げる基本目標の実現をめざしています。

## CONTENTS

県づくりの基本方針……………2	魅力ある郷土づくり……………14
これまでの5年間(平成3～7年度)……………4	生活環境の整備
前期事業計画の成果	自然の保全と活用
これからの5年間(平成8～12年度)……………6	交通ネットワークの整備
後期事業計画のポイント	国際交流・協力の推進
明日を拓く人づくり……………8	活力ある産業づくり……………20
健康の増進	農林水産業の振興
福祉の充実	工業の振興
スポーツ・文化の振興	商業・サービス業の振興と勤労者福祉の充実
学校教育・生涯学習の充実	総合政策の推進……………24

# 県づくりの基本方針

《施策展開の重要視点》

《政策の柱》

明日を拓く人づくり  
魅力ある郷土づくり  
活力ある産業づくり

人材立県

生活立県

国際立県



新富山県民総合計画では、「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策を柱とし、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想のもと、21世紀に向けて「しあわせに生きる 富山県の創造」をめざすことを県づくりの基本方針としています。

## 《県づくりの基本目標》

全国や世界で活躍できる人材を育てるとともに、多彩な分野の優れた人材が富山に集い、交流や情報交換が活発に行われる「創造性あふれる富山」の実現をめざしています。

豊かな自然、質の高い生活環境、家庭や地域の温かなきずなといった優れた条件を活かし、健康・福祉、環境、まちづくりをはじめ様々な分野で「心豊かな幸福社会富山」の実現をめざしています。

交流の歴史や産業の集積、日本のほぼ中央部に位置するという優れた地理的条件を活かして、環日本海諸国との様々な交流や国際協力に取り組み、「世界に開かれ貢献する富山」の実現をめざしています。

# しあわせに生きる 富山県の創造

活力にあふれ発展する富山、温かい心に満ちた美しいふるさと——ともに生きることに誇りと喜びを感じる富山。そんな富山県の創造をめざして、様々な分野において県民一人ひとりの知恵や力を集めたチャレンジを続けています。

3つの日本一への挑戦

日本一の健康・スポーツ県  
日本一の花と緑の県  
日本一の科学・文化県

# これまでの5年間

6つの色で、それぞれの事業の成果を示しています

- 若い力と女性のみずみずしい感性に期待しました
- みんなが健康で安心して生活できる社会をめざしました
- 誰もが自分流の豊かな人生を楽しむ環境づくりに取り組みました
- 国内・国外へと交流の輪を広げ、多くの出会いを大切にしました
- 恵まれた自然を守り、花と緑にあふれた、安全で快適なまちづくりを進めました
- それぞれの能力を活かし、いきいきと働ける産業を育てました



第1回ジャパンエキスポ富山'92

アクトピア21(21世紀をめざす富山県農業の展開)の策定

健康・福祉人材センターの設置

科学技術プランの策定

オレゴン州との友好県州締結

新グリーンプランの策定

木材産業振興ビジョンの策定

ふるさと水ルネサンス構想の策定

新とやま女性プランの策定

第1回ジャパンエキスポ富山'92の開催(〜4.9)

全国知事会の開催

国際青年の村'92の開催

県西部地方拠点都市地域指定

とやま余暇ビジョンの策定

ソフト事業

3年 4月

6月

7月

10月

11月

4年 2月

3月

5月

7月

5年 4月

5月

8月

10月

ハード事業

名古屋便の就航

札幌便の就航

立山博物館の開館

ケアポート庄川の開所

総合教育センターの竣工

総合情報センターの竣工

情報工場の開館

海王丸パークの開園

こどもみらい館の開館

富山空港国際線旅客ターミナルビルの竣工

ソウル便の就航

宇奈月国際会館セラネの竣工

総合運動公園陸上競技場の開園

境川ダムの竣工

北陸新幹線系魚川〜魚津間の本格着工



立山博物館展示館



富山・ソウル国際定期便

新富山県民総合計画の前期事業計画では、「しあわせに生きる 富山県の創造」をめざして、数多くのプランの策定とそれにもとづく施策の実施、ジャパンエキスポ富山'92や高校総体に代表される全国規模のイベントの開催、県民生活に密着した施設の整備などが進められました。



全国高校総合体育大会



介護実習・普及センター展示室

とやま21世紀海ビジョンの策定

県民文化プランの策定

高齢者保健福祉計画の策定

日本中央横断軸構想の策定

全国高等学校総合体育大会の開催

まなびピアとやま'94の開催

国際協力プランの策定

技能五輪とやま大会の開催

全国高等学校総合体育大会(冬季)の開催

2000年 県民が燃えるプログラム事業への支援開始

富山県農業公社の設立

林業カレッジの開校

産業高度化センターの設立

まちのかおづくり事業日本建築学会文化賞の受賞

富山インターネット協議会の設立

福祉カレッジの開校

「五箇山の合掌造り集落」世界遺産に登録

6年3月

4月

5月

7月

10月

11月

7年2月

3月

4月

5月

6月

7月

10月

12月

8年4月

県立中央病院全面改築

新幹線富山駅の整備着手

ハラートネットとやまの運用開始

ウラジオストク便の就航

警察本部庁舎の竣工

農業技術センター・バイオ研究棟の竣工

農立大学院工学研究科(修士課程)の開設

新川文化ホールの開館

福岡便の就航

水産試験場・深層水利用研究施設の完成

チューリップ遺産資源センターの竣工

立山博物館野外施設「まんだら遊苑」の開苑

マルチメディア情報センターの運営開始

中央植物園の開園



新川文化ホール



県立中央病院



中央植物園

# これからの5年間

## 《時代潮流》

### ○地球時代

情報通信技術や交通網の発達によって、県民の日常生活においても国際化・ボーダーレス化が進んでいます。また環境問題に代表されるように、グローバルな視点を必要とする課題が、様々な分野で指摘されはじめています。

### ○人口減少・高齢化時代

富山県では、進学や就職を契機とした若年層の流出が続き、出生率は全国低位で推移しています。また高齢化も全国平均より早く進んでいます。21世紀には県人口の4人に1人が高齢者という超高齢社会の出現が予測されています。

### ○高度情報化時代

インターネットに代表される高度情報通信ネットワークが急速に普及し、情報の価値がますます高まっています。企業や地域社会はもちろん、県民一人ひとりにとってもその自由度が拡がり、社会は大きな転換期を迎えています。

こうした時代潮流を受けて

次のような課題に取り組みなければなりません。

## 《県づくりの主要課題》

- ①人口減少下における本格的な少子化・高齢化への対応
- ②豊かさを実感できる暮らしの追求
- ③災害に強い県づくり
- ④地球環境も視野に入れた快適な環境づくり
- ⑤国内外との交流連携の強化
- ⑥本格的な高度情報化への対応
- ⑦経済構造の変革に対応した地域経済の活性化

政治、経済、社会ともに大きな転換期を迎え、いま私たちのまわりで起こっている様々な変化は、これからの5年間でさらに加速するでしょう。後期事業計画は、こうした激動と混迷の時代を切り拓き、21世紀へのかけ橋となる重要な役割を担っています。

こうした主要課題に取り組みするために、  
後期事業計画が生まれました。

## 《後期事業計画のポイント》

### ①地域づくりのパイオニアをめざした計画

富山県のポテンシャルを最大限に活かした県づくりを進め、地方集権、いわゆる地方分権の時代における地域づくりのパイオニアをめざしています。

### ②時代を先どりする施策を盛り込んだ計画

21世紀を間近にひかえ、富山県の新たな飛躍にむけて、時代を先どりする施策にも積極的に取り組みました。

### ③とくにソフト面の事業を充実させた計画

全国屈指の整備水準を誇るハードに、ソフトをバランスよく融合させることによって、施策の相乗効果を最大限に高めることをめざし、とくにソフト面の事業を充実させました。

# 明日を拓く人づくり

明日の富山県づくりは、何よりも人を大切にし、  
人々が願う幸福の実現をめざすことから始まります。

すべての人の夢をかなえるために…

そして、その夢をさらに大きくふくらませるために…

健康で生きがいのある生活を実現し、  
創造性に富む心豊かな人を育みます。



# すこやかな暮らしのために



医薬品産業の伝統や高い健診受診率をはじめとした富山県の健康をめぐる各種の蓄積を活かしながら、県民一人ひとりの健康習慣づくり運動を展開します。また、予防から治療、リハビリにいたる質の高い保健・医療サービスの充実につとめます。

## 国際健康プラザ(仮称)を整備します

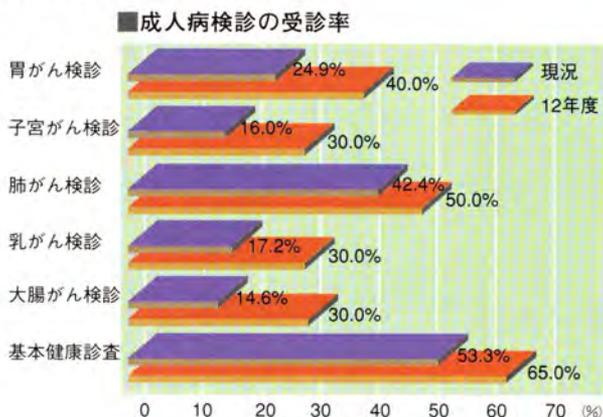
県民の健康づくりの中核拠点、伝統医学に関する国際的基地として、健康づくりを学習する「生命科学館」、実践する「健康スタジアム」、伝統医学を調査研究する「国際伝統医学センター」の3つの施設からなる国際健康プラザ(仮称)を整備します。



国際健康プラザ(仮称)イメージ図

## 各種疾病対策プランを推進します

がんや成人病などの様々な疾病に対し、予防知識の普及や検診、治療体制の充実など総合的・計画的な各種施策を推進します。



## こころの健康プランを策定します

生活環境の変化や過労などによって起こる様々なストレスを解消し、心の健康を保つための指針を作成し、県民の心の健康づくりをバックアップします。

## 母子医療センターを整備します

重症の妊産婦や新生児に高度な医療を提供し、周産期保健医療サービスの拠点となる施設を県立中央病院に整備するなど、総合的な母子保健対策を進めます。



## 地域救命センターを整備します

県民に身近で高度な救急医療サービスの提供をめざし、2次医療圏ごとに集中治療室を備えた地域救命センターを整備し、救急医療体制の充実を図ります。



# ぬくもりある社会をめざして

家族や地域のきずなが強い富山県の特性を活かし、家庭や地域が一体となって、高齢者・障害者・子どもたちが、ぬくもりと生きがい、そして大きな安心を感じながら暮らせる、心あたたまる福祉社会を建設します。

## 福祉に関する総合的な条例を制定します

少子化・高齢化への対応や障害者などの自立と社会参加を促すため、本県がめざす福祉社会の基本理念と施策の基本的方向を明らかにし、福祉施策を総合的に推進していく条例を制定します。

## 総合福祉会館（仮称）を整備します

高度化・多様化する県民の福祉ニーズに対応するため、ボランティア活動などの推進、福祉人材の養成、福祉情報の受発信を行う総合的な施設を整備します。

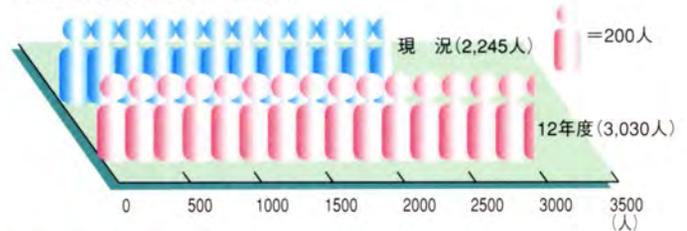


総合福祉会館（仮称）完成予想模型

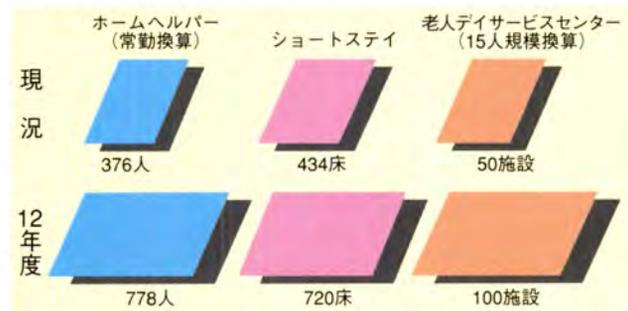
## 高齢者保健福祉計画を推進します

高齢者保健福祉計画（平成5年度策定）にもとづいて、ホームヘルパーなどの在宅サービスや、特別養護老人ホームなどの施設サービスをより一層充実させます。

### 特別養護老人ホーム定員



### 在宅福祉サービス



## ねたきり・痴呆防止県民アクションプログラムを策定します



福祉機器活用研修

ねたきりや痴呆の防止のために、県民が日常生活のなかで実行できることをマニュアルとしてまとめ、県民と行政が一体となって予防やリハビリを推進します。





### 障害者計画を策定します

福祉、保健・医療、環境整備など各分野の施策を総合的に盛り込んだ障害者計画を策定し、障害者が地域において安心していきいきと暮らせる社会の実現をめざします。

### 障害者教育の充実を図ります

障害の種類や状態に応じて適切な教育が受けられるよう、就学指導の充実や教育内容の充実、特殊教育諸学校の整備充実などを進め、障害者の自立と社会参加を促します。

### 第36回全国身体障害者スポーツ大会を開催します(平成12年度)

身体にハンディを持つ人たちのスポーツの祭典「全国身体障害者スポーツ大会」を2000年国体に併せて開催し、障害者相互の交流を図り、障害者への理解を深めます。



### 児童育成計画を策定します

子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めるため、保育・母子保健、さらには教育・労働などの多分野にわたる、総合的な児童育成のための計画を策定します。

### こども家庭支援センター(仮称)を設置します

子育てを支援するため、妊娠、出産、子育てに関するあらゆる相談に応じる市町村の「こども家庭支援センター(仮称)」の設置に助成を行います。

### 保育サービスの充実を図ります

乳児保育、延長保育、一時的保育、休日保育、障害児保育などの保育サービスの充実を図り、安心して子育てができる環境を整えます。



# こころの豊かさを求めて



スポーツ・文化の振興

祭りや伝統工芸に代表される文化の厚み、文化施設・体育施設などの整備率の高さを活かし、県民誰もがスポーツやレクリエーション、芸術や文化に気軽に親しみ、心豊かな人生を送れることをめざします。

## 2000年とやま国体を開催します (平成12年度)

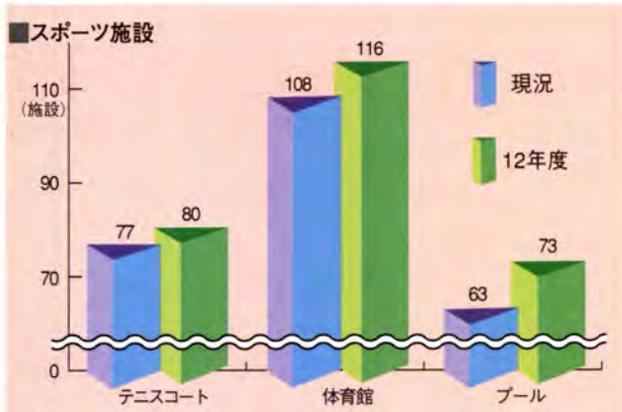
富山らしさを発揮した感動あふれる大会とするとともに、これを契機として生涯スポーツの基盤づくりや活力ある地域づくりを推進し、魅力ある富山のイメージを全国に発信します。



2000年とやま国体シンボルマーク

## 文化の振興に関する条例を制定します

文化活動を担う人材の育成、文化活動の場の整備など県民の文化活動を支援するため、文化の振興に関する条例を制定し、文化の香り高いふるさと富山県の実現をめざします。



## 公立文化ホールネットワーク事業を創設します

公立文化ホールの共同企画公演やボランティア育成事業に対する支援を通じ、文化ホールの連携強化と活性化を図り、県民に芸術などの鑑賞や創作発表の機会を提供します。

## 世界遺産五箇山合掌造り集落の 保全活用を図ります

五箇山まちづくり計画に沿って、防災施設設備などの合掌造り集落の保全や村有合掌家屋の活用など、世界遺産登録を契機とした総合的な地域振興を進めます。



平村相倉合掌造り集落

## 水墨画を中心とする新美術館を整備します

茶室、日本庭園などをそなえた新しい和風美術館を建設し、水墨画や屏風、掛軸をはじめとした日本文化特有の美を中心に展示します。

## 第11回国民文化祭 とやま'96を開催します

「いのちとくらしーとやまマンガ大絵巻ー」をテーマに多彩な文化イベントを開催し、新しい芸術文化の創造と芸術文化を通じた国内外との交流を図ります。



国民文化祭とやま'96ポスター



# 一人ひとりに学びの感動を



学校教育・生涯学習の充実

積極進取の気風、教育水準の高さ、生涯学習の先進県といった富山県の特徴を活かして、明日の富山を担う心豊かな人材の育成をめざします。また、生涯にわたって学びの感動を得られる環境を整えます。

## ■ 高校教育改革を推進します

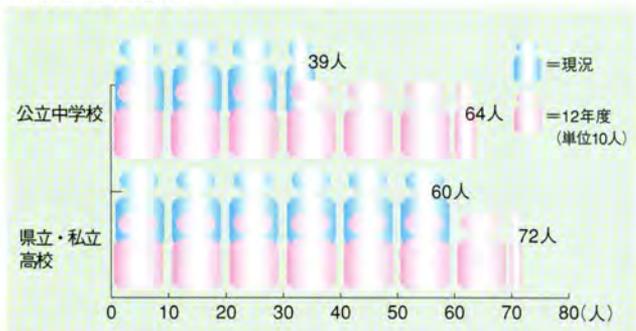
総合学科や普通科コースの導入、職業科の学科改編、女子高校の共学化といった高校教育改革を推進し、特色ある学校づくりを進めます。



■ 普通科単独校のパソコン設置台数



## ■ 外国人英語教員



## ■ 教員カウンセラーを養成します

社会問題となっている「いじめ・登校拒否」の解決をめざして、教員カウンセラーの養成や相談窓口の拡充を図り、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを進めます。

## ■ 私立学校への各種助成を行います

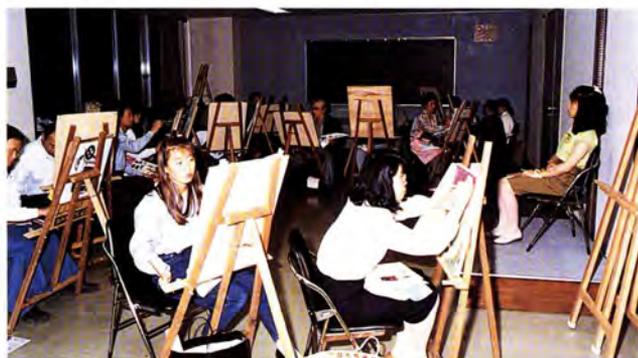
個性豊かな人材育成をめざす私学教育をさらに充実させるため、私立学校に対して経常費補助や長期低利融資など各種の助成を行います。

## ■ 県立大学に博士課程を設置します

県立大学において高度な先端的研究を推進するとともに、優れた研究者・技術者を養成するため、機械システム工学、電子情報工学、生物工学の各専攻に博士課程を設置します。

## ■ 生涯学習推進プランを策定します

生涯学習推進プランを策定し、県民一人ひとりの学習意欲に応える生涯学習環境づくりを進めます。



## ■ とやま女性総合センター(仮称)を建設します

みのり豊かな男女協同社会をめざす活動拠点として、生活体験実習室や研修室、多目的ホールなどをそなえたセンターを建設し、女性の社会参画や生活創造、ネットワークづくりなどを支援します。



とやま女性総合センター(仮称)イメージ図

# 魅力ある郷土づくり

県民一人ひとりの人生をドラマにたとえるなら、  
郷土は、名シーンを生み出すステージです。  
人と人、人と自然がやさしいハーモニーを奏でるような、  
うるおいあふれる美しい郷土づくりをめざして…  
21世紀の県民生活にふさわしい舞台づくりを進めます。



# 安全で住みよい環境づくり



快適で住みよい生活環境を維持・向上させていくために、環境汚染の防止や廃棄物処理の適正化、県下全域にわたる下水道化などを進めます。また、万一の災害時にも、大切な県民の生命と財産を守ることでできる防災体制づくりを進め、毎日の生活に安心を届けます。

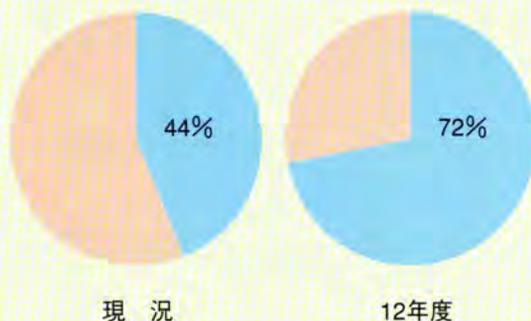
## 環境基本計画を策定します

平成7年に制定した環境基本条例にもとづき、環境の保全、創造に関する総合的、長期的な施策の枠組みを定める環境基本計画を策定し、環境政策を総合的、計画的に進めます。

## 全県域下水道化構想を進めます

神通川左岸流域下水道や小矢部川流域下水道の建設、公共下水道や農村下水道の整備、合併処理浄化槽の普及を図るなど、全県域下水道化を促進します。

■下水道普及率



## 広域的な防災拠点施設を整備します

平常時は展示や教育研修の機能をそなえた防災訓練の場、大規模災害時には救援活動の拠点となる、広域的な防災拠点施設を整備します。

## 地震防災緊急事業5箇年計画を策定します

避難地・避難路や緊急輸送道路などの確保、防災行政無線設備の整備など、地震防災上、緊急に整備すべき施設を整備し、災害に強いまちづくりを進めます。



## 建築物の耐震対策を進めます

災害時には避難・救援拠点となる公共施設や学校施設などを中心に、建築物の耐震診断を実施し、耐震性の強化を進めます。

# 豊かな水と緑を守り育てる

植生自然度の高さ、豊かで美しい水など、世界に誇れる自然の魅力を活かして、うるおいといろどりにあふれる県土づくりを進めます。また、全県域公園化を推進し、自然とのふれあいの機会を広げ、人間と自然の共生をめざします。

## 【水の恵み】

### 黒部峡谷の利用を促進します

日本一のV字峡といわれる黒部峡谷について、自然保護などに配慮しながら、利用促進や流域の発展のための方策を検討します。



黒部峡谷・白竜峡

### 水をテーマとする文化施設構想を支援します

富山ならではの水文化を創造する拠点施設として、新川広域圏において計画されている水をテーマとした文化施設構想を支援し、水とのふれあいの機会を広げます。



黒部市生地・共同洗い場

### 深層水利用技術の研究開発を進めます

富山湾の深海から取水され、低温、清浄で栄養塩に富む深層水について、栽培漁業や海洋療法、医薬品生産などの分野への利用研究を進めます。



水産試験場における深層水研究

### 全国水の郷サミットを開催します

恵まれた水資源の保全とその多面的な活用を考えるイベントの開催を通して、水と親しむ県民生活を創出し、「水の王国とやま」を全国に向け発信します。

### 新たな雪観測システムの研究に取り組みます

ドップラーレーダーなどを利用した新しい雪観測システムの導入について研究するなど、雪に関する調査・研究を進め、総合雪対策の推進につとめます。



自然の保全と活用

### 【あふれる緑】

#### 第40回自然公園大会を開催します (平成10年度)

第40回自然公園大会の開催、ナチュラリスト活動の推進などを通して、人と自然との関係について考え、自然を守り、人と自然との豊かなふれあいを推進します。

#### 花と緑の県づくりを進めます

全国都市緑化フェアの開催を契機に、県民総ぐるみによる花と緑にあふれた郷土づくり運動を展開するほか、県土緑化の拠点となる植物園や都市公園の整備を推進します。



全国都市緑化とやまフェア開会式

#### ■都市公園面積

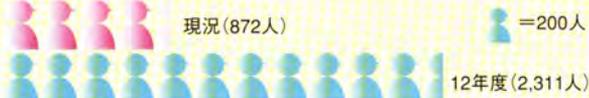


#### ■緑化グループ・グリーンキーパー数

##### 緑花グループ



##### グリーンキーパー



絵記号で事業の分野を示しています

ソフトの充実

ハードの整備

#### ふるさと生き物環境づくり (ビオトープ) 事業を推進します

自然環境に配慮し、生き物の生息環境の保全や創造に取り組むため、ビオトープマニュアルを作成し、地域の特性に配慮した環境づくりを実施します。

#### 新立山自然保護センターを整備します

自然と人との豊かなふれあいの機会を広げるとともに、自然環境の保全や復元を図ることなどを目的とした緑のダイヤモンド計画を策定し、その利用拠点施設として整備します。

#### 立山カルデラ砂防博物館(仮称) を整備します

立山カルデラの自然と砂防事業を紹介する新しい博物館を整備し、大型地形ジオラマをはじめとする展示や野外ゾーンの見学会の実施などを通じ砂防事業への理解を深めます。



立山カルデラ砂防博物館(仮称)完成予想図

# 国内外との緊密なネットワーク



交通ネットワーク  
の整備

環日本海地域における日本の中央部に位置し、三大都市圏とほぼ等距離にある地理的特性を活かして、国内外との広域交通体系の整備を図ります。

## 北陸新幹線の早期全線整備と 新幹線富山駅整備を促進します

東京一極集中を是正し、日本海国土軸や日本中央横断軸の形成にも大きな効果をもたらす北陸新幹線の早期全線整備と新幹線富山駅の整備を促進します。

## 東海北陸・能越自動車道や 地域高規格道路を整備します

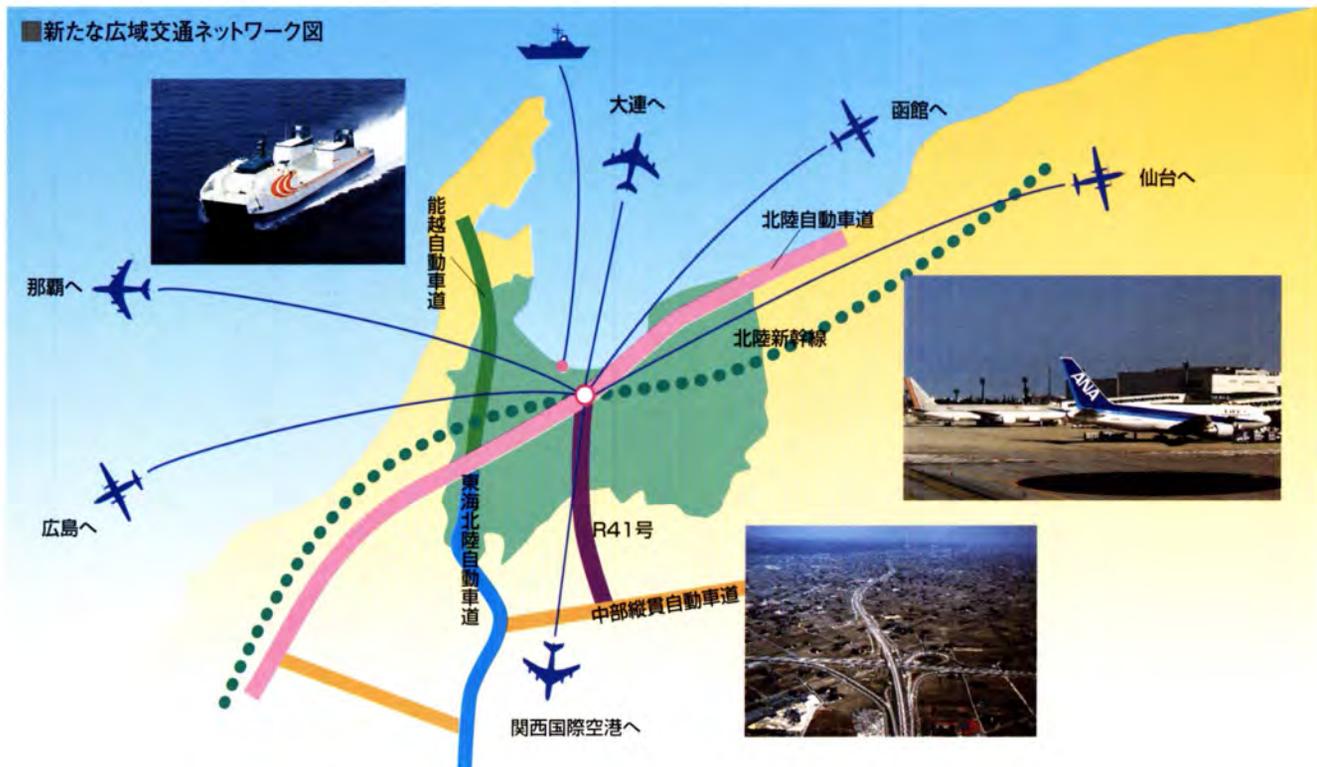
太平洋側と日本海側を結ぶ東海北陸・能越自動車道の建設を進めます。また、それらと一体となって幹線道路ネットワークを強化する地域高規格道路の整備を進めます。

## 国内線・国際線・通勤路線 の開設を促進します

富山空港の機能の充実を図り、那覇便や大連便といった新しい定期航空路線の開設、仙台や広島と結ぶ通勤航空の導入などを促進します。

## 伏木富山港の整備を進めます

環日本海交流の海の拠点である伏木富山港の整備を進めます。また、海の新幹線・テクノスーパーライナーの誘致につとめます。



絵記号で事業の分野を示しています



ソフトの充実



ハードの整備

# 環日本海交流のチャンピオンをめざして

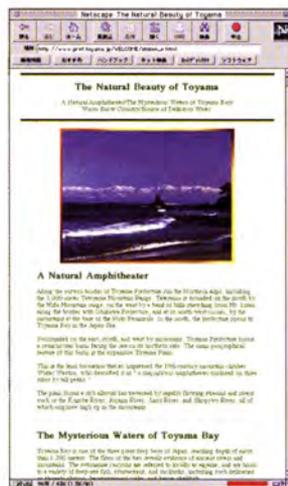


国際交流・協力の推進

文化や産業など幅広い分野における国際交流、国際協力の経験を活かし、地域に根ざし、世界的に考え行動する人材の育成を図ります。また、情報の発信を通じて環日本海交流の拠点の形成につとめます。

## 国際交流・国際協力を進めます

中国、ブラジル、アメリカ、ロシアの友好提携先との交流をさらに進めます。また、研修員の受入れなど人材育成を中心に、国際協力を積極的に進めます。



富山県ホームページ(英語版)

## 日本海博物館(仮称)を整備します

環日本海交流の拠点をめざす日本海ミュージアム構想の中核施設となり、日本海や日本海沿岸各地の自然や文化を学べる日本海博物館(仮称)を整備します。



日本海ミュージアム構想が進む富山新港西側埋立地

## 環日本海環境協力拠点組織を整備します

海洋汚染や酸性雨など環日本海地域における環境問題を解決するため、環境保全に関する国際協力を進める拠点組織を整備し、グローバルな視点に立った環境保全を進めます。

## 環日本海美術展を開催します

環日本海美術展を開催するほか、学術・教育・スポーツ・経済など、幅広い分野において環日本海諸国との交流・協力を推進します。





# とやまブランドを全国に



農林水産業の振興

全国有数の良質米生産県であることを活かし、そのブランドイメージの確立や、より付加価値の高い県産品づくりを進めます。また、流通・販売面での新しい試みを進めながら、市場開放、産地間競争の激化にも耐えうる、たくましく魅力ある農林水産業の確立に取り組みます。

## 商品価値の高い農産物づくりを進めます

技術革新による省力化・低コスト化、品種改良、高付加価値化など美味しい富山米づくりを進めるとともに、米の生産に園芸特産物を取り入れた農業経営の複合化を進めます。

富山米コシヒカリ産地精米「ひそっこ倶楽部」



## 県産材の生産・流通・加工体制の整備を進めます。

県産材生産の集団化を進めるとともに、林道などの生産基盤や木材の流通・加工施設の整備と木材需要の拡大を進めます。

## 中山間地域の総合的な整備を進めます

中山間地域の活性化プランを策定するとともに、農林業や生活環境の基盤などの整備を市町村の枠をこえた連携によって進め、中山間地域の活性化を図ります。

## 多彩なマーケティングを展開します

農産物の集出荷施設の整備や流通販売対策の強化など、消費者ニーズに対応したマーケティングを展開し、農産物の市場競争力を高めます。また、平成10年度に全国食文化交流プラザを開催します。

園芸作物作付面積



## マリノバージョン構想を推進します

漁業生産拠点である漁港、漁業と調和した海洋性レクリエーション施設、さらには生活環境の整備を図り、魅力ある漁港・漁村づくりを進めます。



絵記号で事業の分野を示しています



ソフトの充実



ハードの整備

# 頭脳集積とやまの確立



日本海側屈指の工業県としての特性を活かし、産学官が連携しあって産業の高度化・先端化を進めます。また経済のソフト化・サービス化に対応し、デザイン・情報・研究開発といった知識集約型産業の育成を図ります。

## 21世紀に向けた産業ビジョンを策定します

富山県産業の活力を維持向上させていくため、21世紀を担う新しい産業分野の創出や既存産業の高度化、相互に関連する産業分野のネットワーク化などの方策をまとめます。

## 新たな展示交流施設の整備に着手します

見本市や展示会はもちろん、各種イベントやコンベンションなど幅広い目的に活用でき、地域情報の発信交流拠点となる、新しい産業展示館の建設の準備を進めます。

## 高岡オフィスパークを整備します

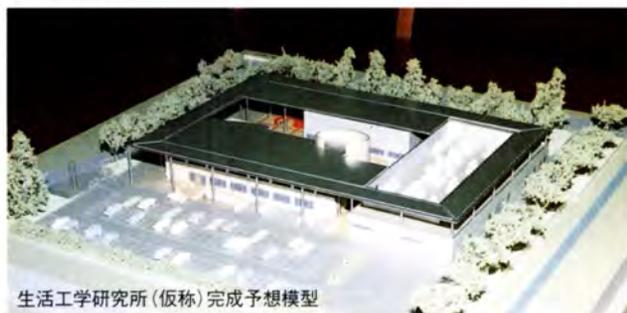
デザイン・情報・研究開発などの業務をいとなむ事務所や研究所などを集めた高岡オフィスパークを整備し、その支援施設として産業高度化センターを整備します。



高岡オフィスパーク イメージ図

## 生活工学研究所(仮称)を整備します

「衣・住・遊」に関する生活関連産業を支援する工業技術センター生活工学研究所(仮称)を整備し、また、中央研究所に特許情報を有効活用する知的所有権センターを設置します。



生活工学研究所(仮称)完成予想模型

## 小矢部南部丘陵企業団地開発を促進します

環境調和型ニューインダストリアルパークを開発理念とする小矢部南部丘陵企業団地の開発を促進し、先端技術産業などの誘致を図ります。

## ベンチャー企業への支援を促進します

ハイテク・ミニ企業団地の整備や創造的中小企業への投資の活性化、創業者支援資金の貸付けといった事業を通して、独創性と意欲をもったベンチャー企業を支援します。

### ベンチャー支援事業投資額



# 活気あふれるにぎわいの街を



商業・サービス業の振興と  
勤労者福祉の充実

新しいライフスタイルや生活文化を提案できる商業・サービス業を育成し、魅力あるまちづくりを進めるとともに、新たな観光ルートを開発を進めます。また、勤労者のゆとりある生活創造を支援します。

## 魅力ある商業空間の整備を支援します

多目的ホールや展示場などの商業基盤施設と商業施設の一体的な整備を支援し、魅力ある商店街や商業集積の形成を進めます。

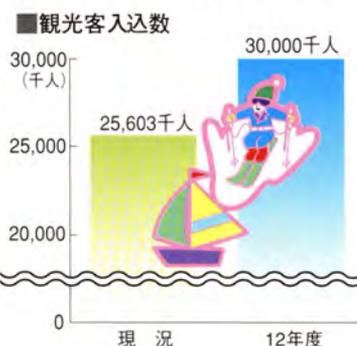
## 商店街の賑わいづくりを推進します

空き店舗の発生防止と有効活用を目的としたモデル事業への助成を行うほか、CI導入やイベント開催などへの助成を通して、商店街のにぎわいづくりを支援します。



## 広域型・滞在型観光の振興を図ります

いきいき富山観光キャンペーンなどの展開や観光リゾート施設の整備を促進するとともに、富山ならではの観光ルートの設定を進め、広域的・滞在型観光の振興を図ります。



## シルバー人材センター事業を拡充します

高齢者が、その優れた能力を活用し、いきがいをもって働ける場を確保するために、県内全域においてシルバー人材センター事業を推進します。

## 富山勤労者総合福祉センター（B型）を整備します

勤労者のゆとりある生活を支援する拠点として、ケアセンターや多目的ホール、研修宿泊などをそなえた勤労者総合福祉センターを整備します。



富山勤労者総合福祉センター（B型）イメージ図

# 総合政策の推進

## 開かれた県政をめざして

県民と行政との間に信頼のきずながあってこそ、  
明日に向けたすばらしい富山県づくりは実を結びます。  
すみずみにまで温かい心がかよう、県民本位の県政。  
県民一人ひとりが主役の、県民参加の県政。  
創意や工夫をこらした、先見性に満ちた計画県政。  
これが県行政の基本姿勢です。



## 全世帯配布用広報紙を発行します

新聞広報の充実、全世帯配布用広報紙「あいの風だより」の発行をはじめとした新たな広報戦略を展開し、県民の県政への理解をより一層深めていただきます。

## 情報公開制度を充実します

開かれた県政を一層推進するため、県民への情報提供、情報公開制度を充実するとともに、個人情報の適正な取扱いを目的とする個人情報保護制度も実施します。

## 政策情報誌を刊行します

県職員の政策形成能力の向上をめざした新たな政策情報誌「でるくい」を刊行するとともに、次期総合計画の策定に向けて21世紀フロンティア重点戦略の研究を行います。



政策情報誌「でるくい」（創刊準備号）

## 地方集権、いわゆる地方分権を推進します

住民が主役で地方が主役の地域づくりをめざし、住民に身近な市町村への事務移譲を進めるなど、地方集権を推進します。



## 200X年 県民が燃える プログラム事業を支援します

21世紀初頭に向けて、県民自らが夢や希望にあふれた目標を定め、実行に移していく「200X年 県民が燃えるプログラム事業」を支援し、県民主体の地域づくりを推進します。



200X年 県民が燃えるプログラム提案募集顕彰式

## 人口問題に取り組みます

若者の交流と定着をめざし、人口問題懇話会の開催などを通して、総合的な視点から人口問題に関連した諸施策の推進を図ります。

## 県庁情報通信網(LAN)を構築します

情報の共有化による行政事務の効率化と行政情報提供による県民サービスの向上を図るため、県庁内の各部署を結んだ情報通信網(LAN)を構築するなど情報化を推進します。

## 行政改革を推進します

県民サービスの向上と県政の活性化をめざして、新富山県行政改革大綱にもとづく行政改革を進め、行政の民主化・地方集権化・総合化・活性化・簡素効率化を図ります。



 富山県

平成8年8月 発行／富山県企画部計画課  
〒930 富山市新総曲輪1-7 TEL0764(31)4111